

お変わりなくお過ごしのことと思います。

9月30日 内堀 雅雄 福島県知事を招いて、「福、笑い」の稲刈りを行いました。福大・農業短大の学生らにはすげもじりから体験してもらい、ハセがけまで行いました。(近隣の有志の方々にも協力をいただい
もう、市場には出回っていますので是非ご賞味ください。『かおり、あまみ、ふくよかさ』。「日本一の米をつくりたい」とのスローガンにて栽培しています。

なんと！「五百川」の2期作目の穂が出ました。沖縄あたりでは収穫できるのですが、間もなく霜で枯れてしまいます。(稔らず、しいなばかりです。スズメも食べません)



学生達とすげもじり



福、笑いの稲刈り



2期作の五百川？

稲刈りが終わると来期に向けた作業に入ります。圃場毎(30枚)に土を採取して、土壌分析を依頼します。N(チッソ)P(リン)K(カリ) 苦土(Mg) 石灰(Ca) ケイ酸(Si) 鉄…等の成分とpH(水素イオン濃度) CEC(陽イオン)・・・の値を調べます。pHが高いので(アルカリ性)昨年比、鶏ふんを半分に(1000袋から500袋に)しました。散布後、秋耕に入ります。(年内の作業)



土壌分析用の採取した土



鶏ふんの山



昔の道具

土蔵、蔵、物置・・・等の解体(12月初めから)に向けて内部の片づけをしています。いろいろな道具(治具)が出てきました。百姓の必要なものはすべて手作り(道具を使って)です。むしろ・草鞋・みの、蚕のまぶし・わらだの網・・・(原料は、すべて稲わら)今はすべて購入する時代になってしまったようです。そして、使い捨てに。

追伸

- ・『ちょこっと』同封しました。
- ・バックナンバーはHPで見られます。ご覧ください。
- ・今年最後のご案内となります。コロナ禍、ご自愛のほどを。

《いつもありがとうございます。お世話になっているの方々へお送りしています》

菅平米園 季-52